

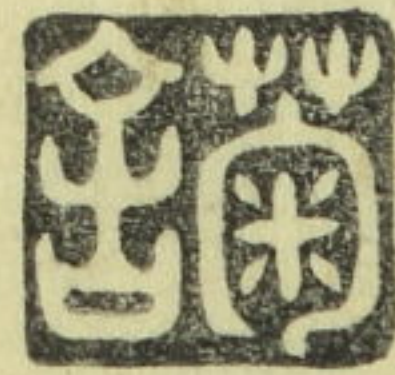


手抄三集二

此畫圖ハ東武ノ再抄
妻の比物ハ小変ニ佳素
眼又ハ深置一端ニ
經ノ後一片ニ乃画題
昂吾妻ハ千里亭ノ託

五十三次のむらびくろ編り作り
字行好字是はなごのひ巻中
くくく一浪は流る年

一字菴



世世世世世世世
世世世世世世世
世世世世世世世

品川や

神々

舟越に

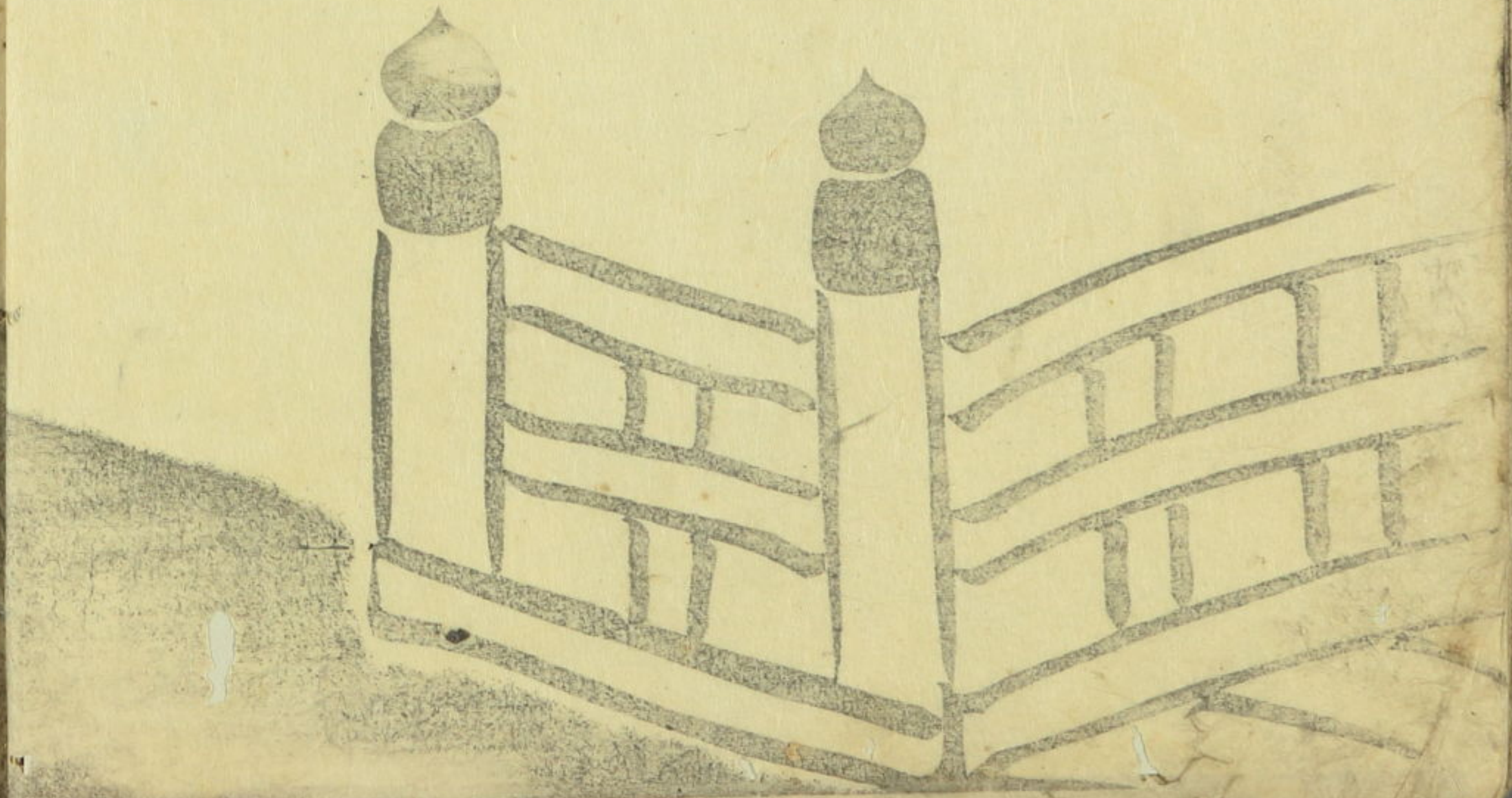
花のあま



月より花も

より花も

白木橋



陽春也

大沙志

不思家

川崎

了

卅

卅

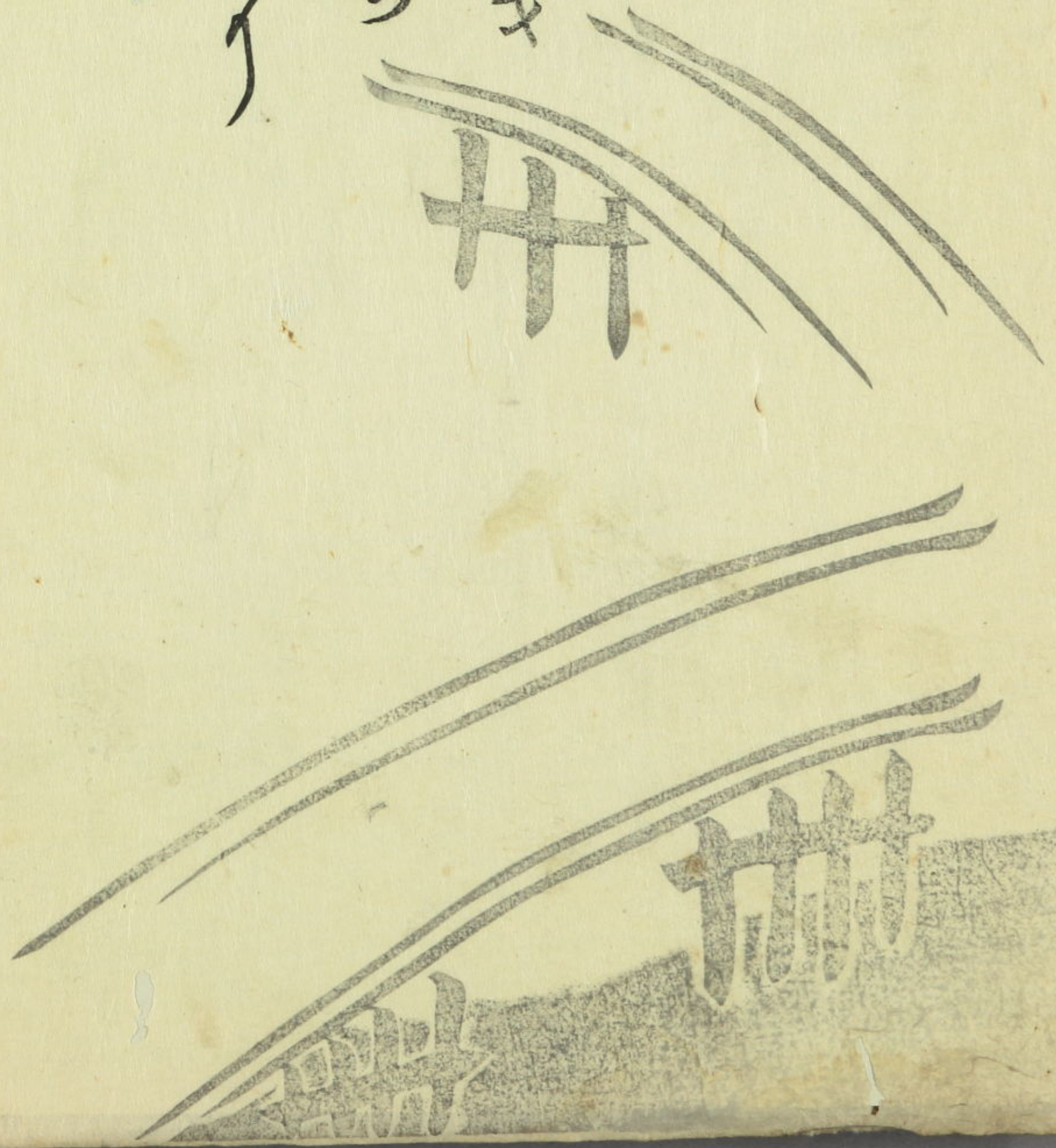
神奈川也

只承了孫奴

道之也



舟人



下五劫之

燒之

石

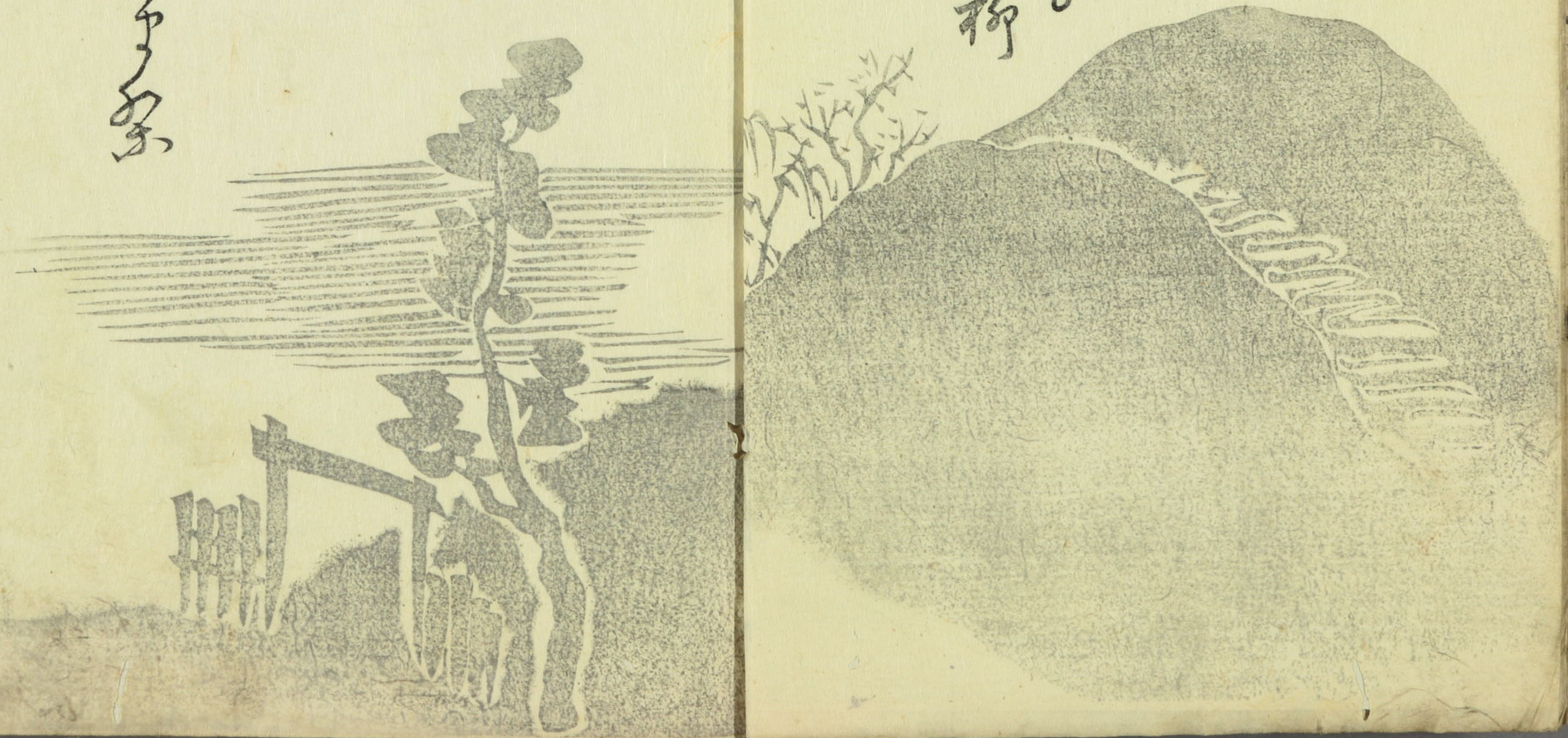
松柳

夕雲

引之

乃

之



あまのこゝろもあまのこゝろ

海の子孫



あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ



何種一好

三也く尺也

正統器

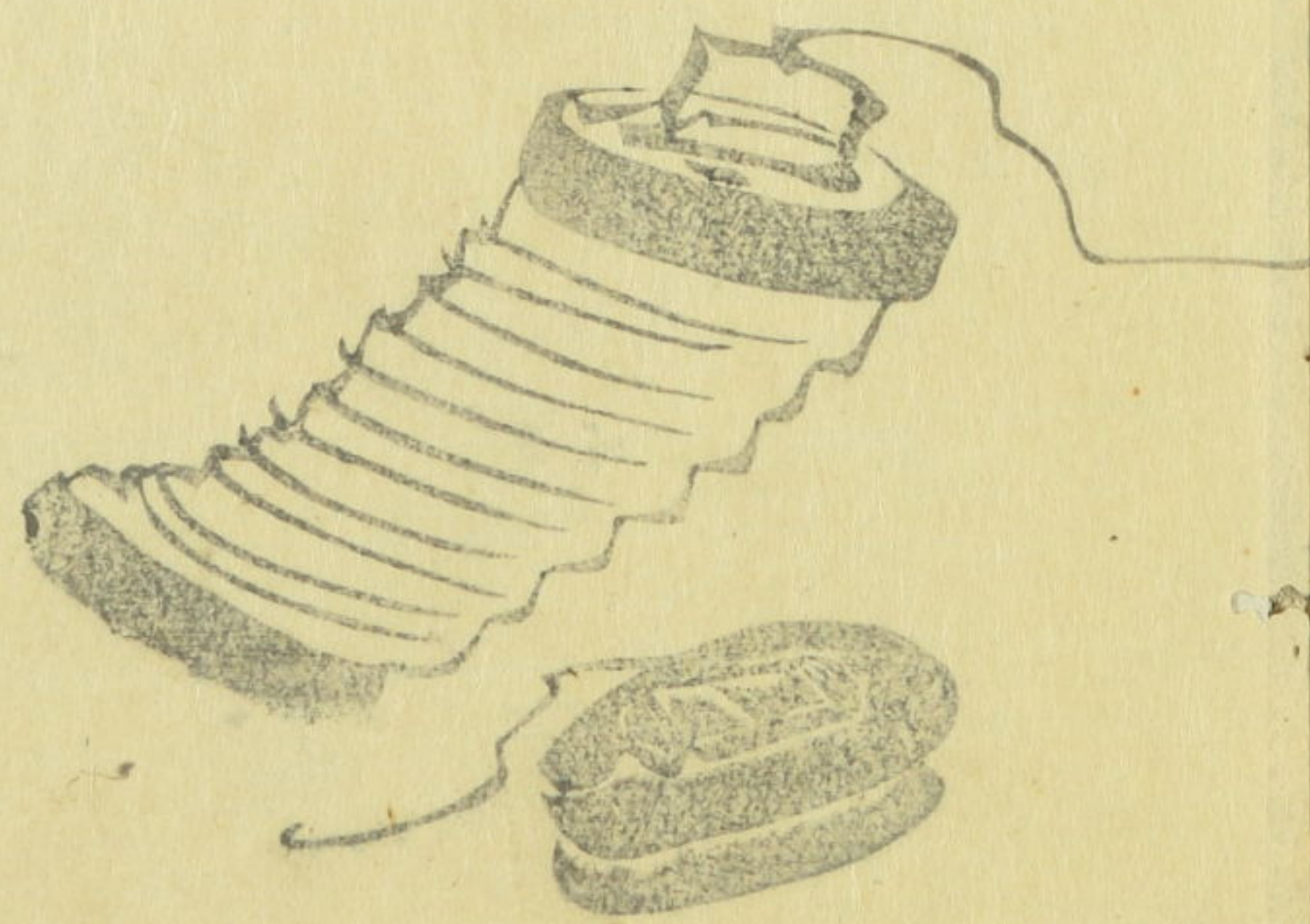


小田原書

くわら

白小書

紙



子小系也

算如戸

去也

去也

子



暖也

去也

去也

鶴如也

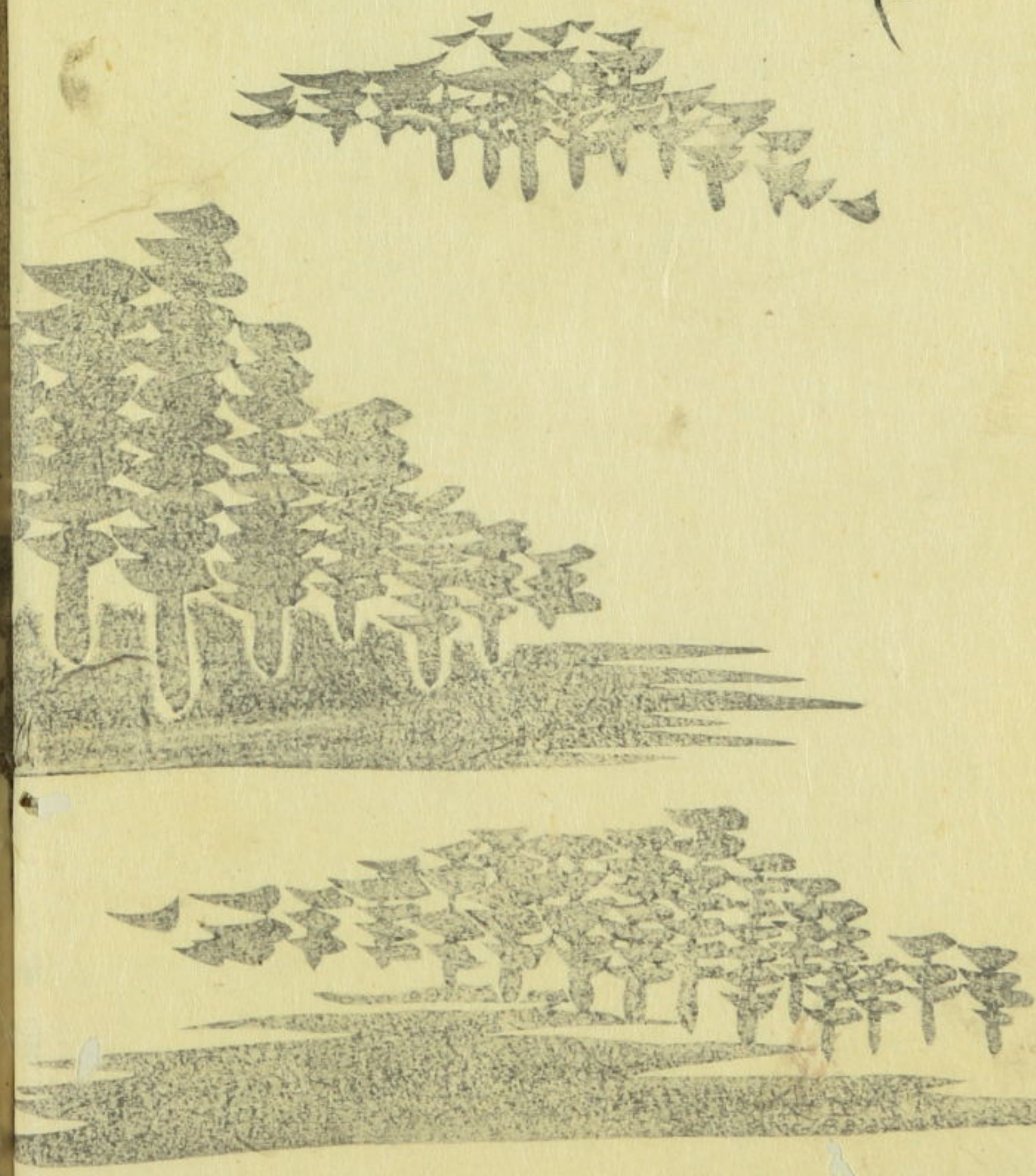


まゆみ

あやかし

ちりや

あみと



涼崎

あやかし

ちりや

あやかし

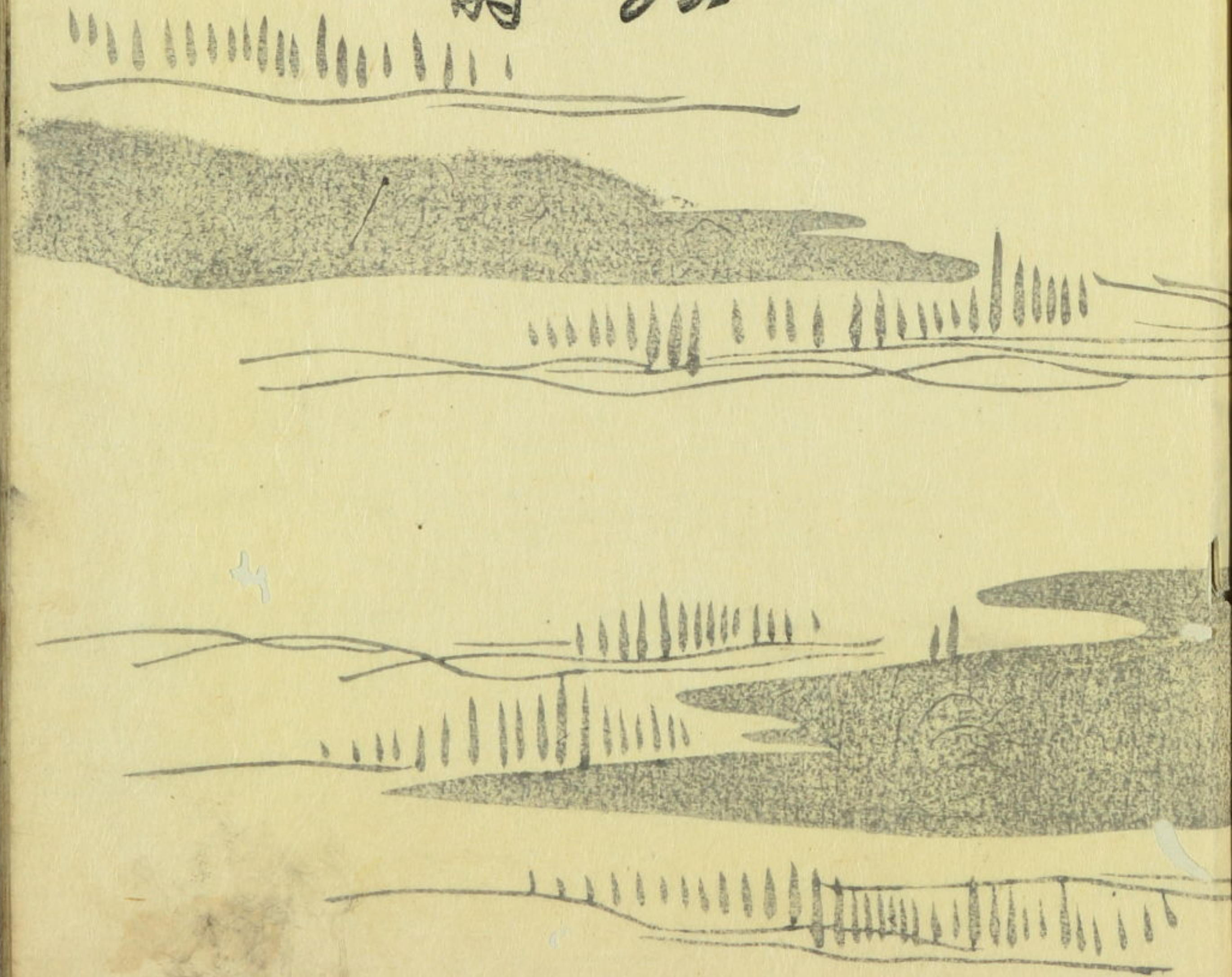


浦系也

と一折

志乃如

芽出時



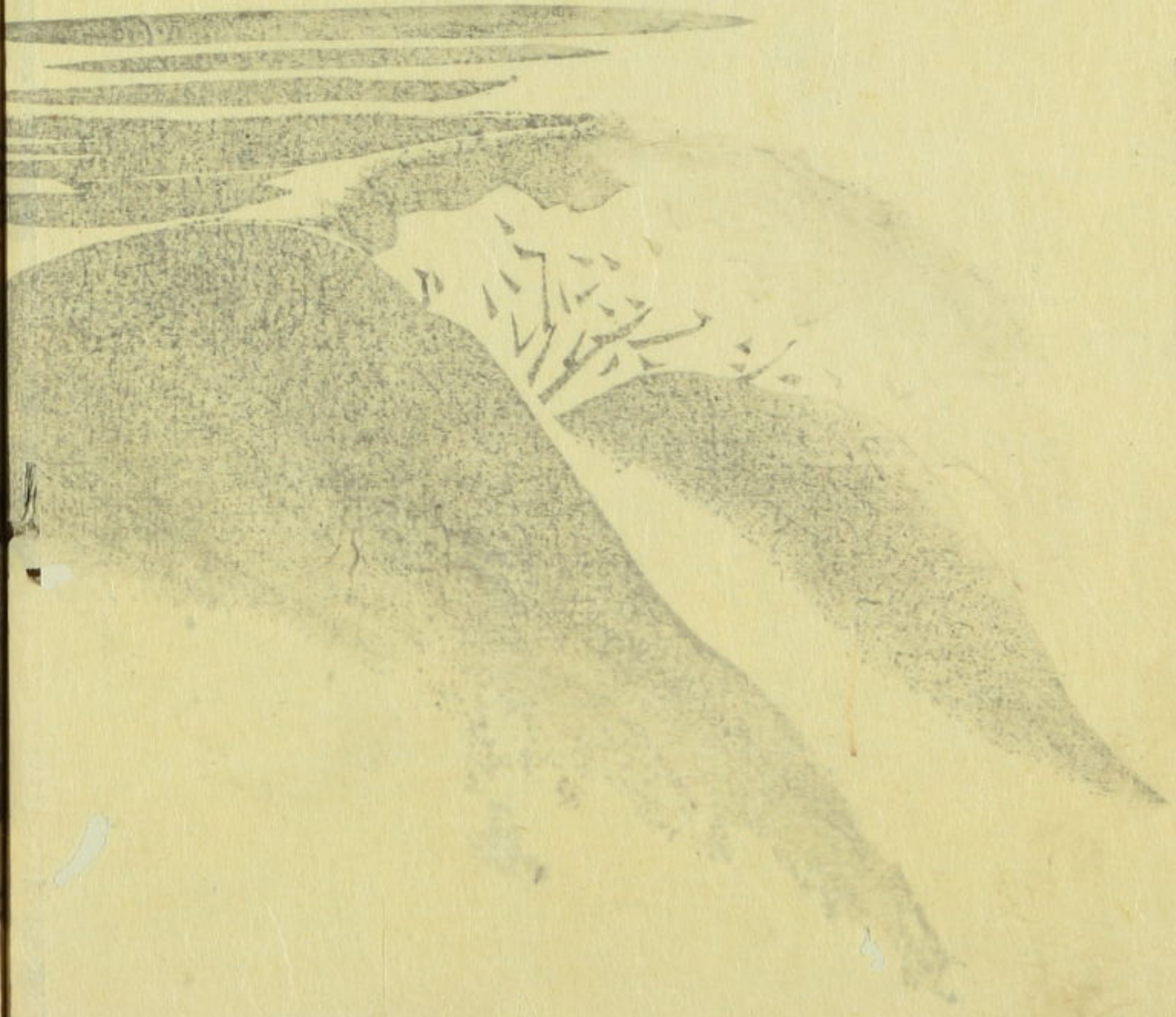
有る也

梅

あき

富士

志乃



玉姫くや

中井の

陀志

十日

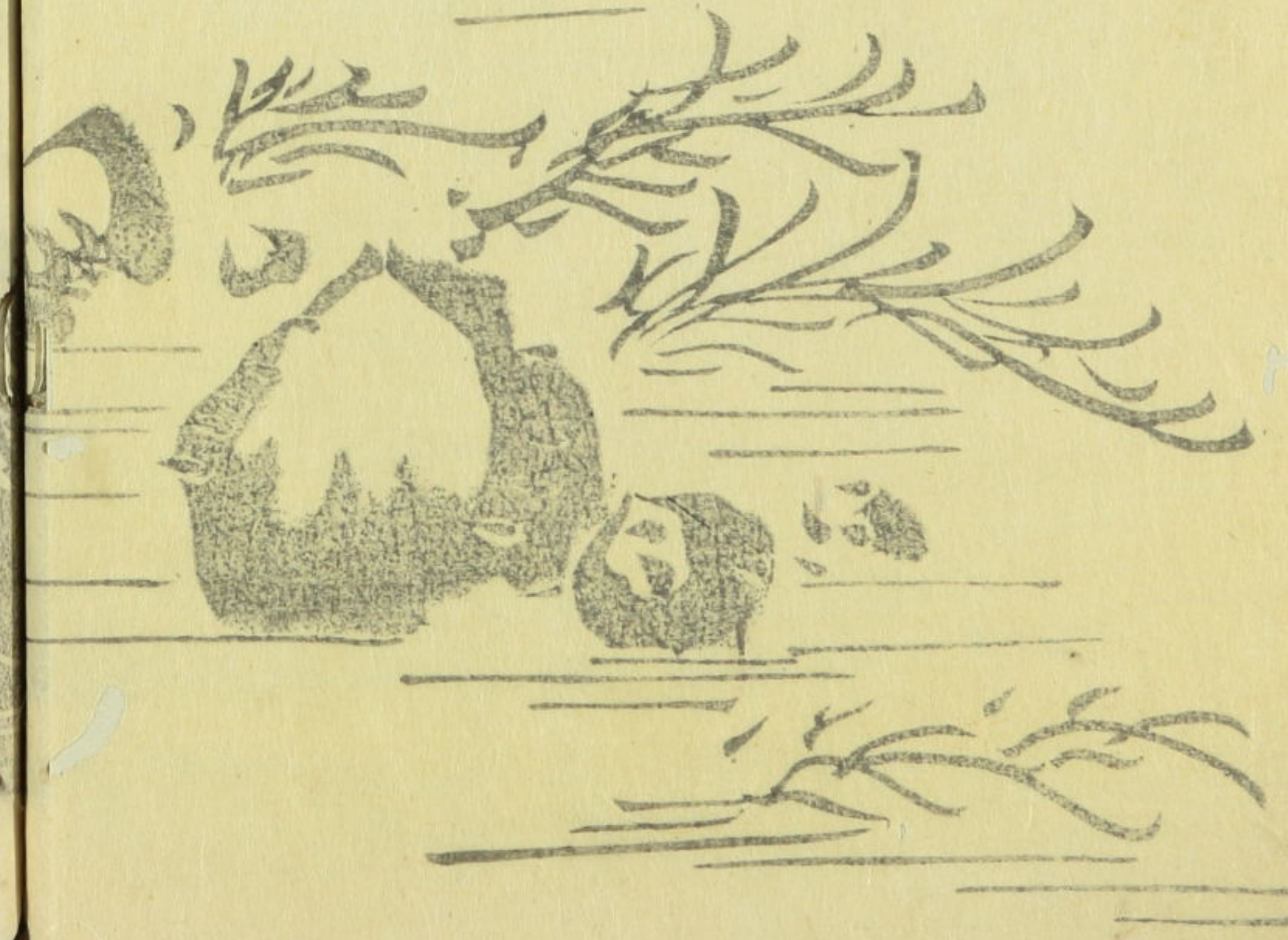
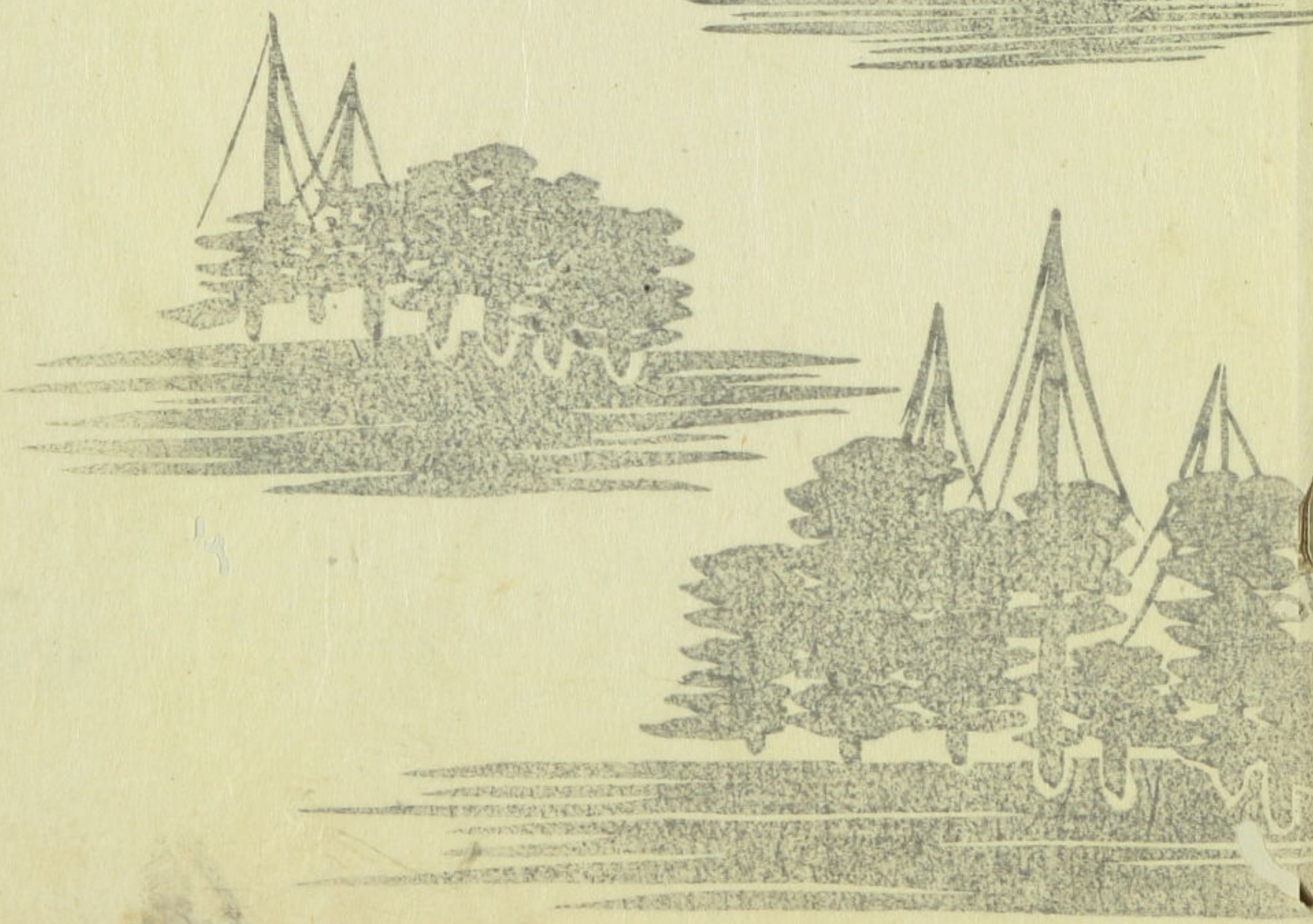
朝

沖舟あり

おきふり

春のや

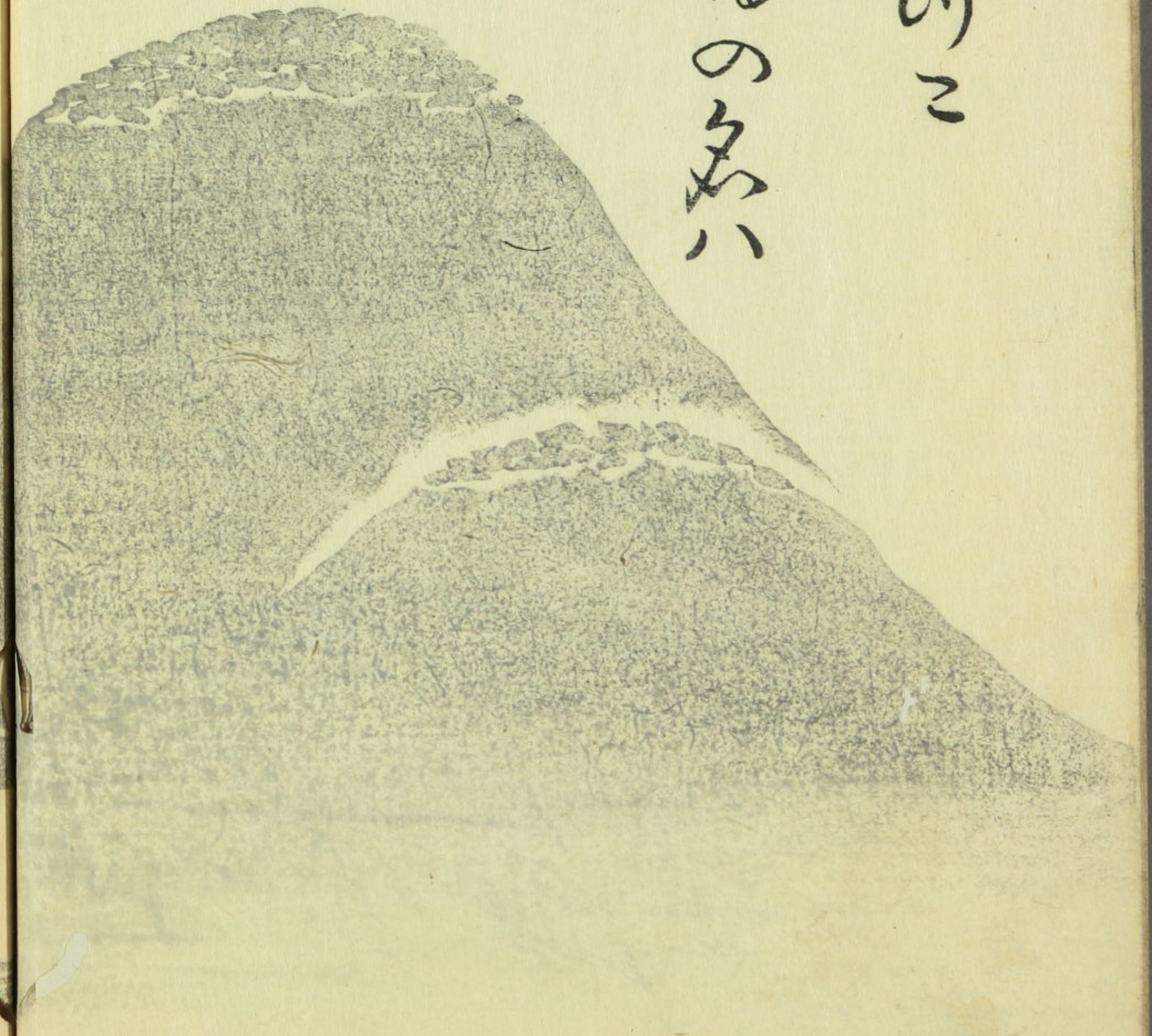
清くは



月かゝるこ

まのたのまハ

ぼろ



まのたのまハ

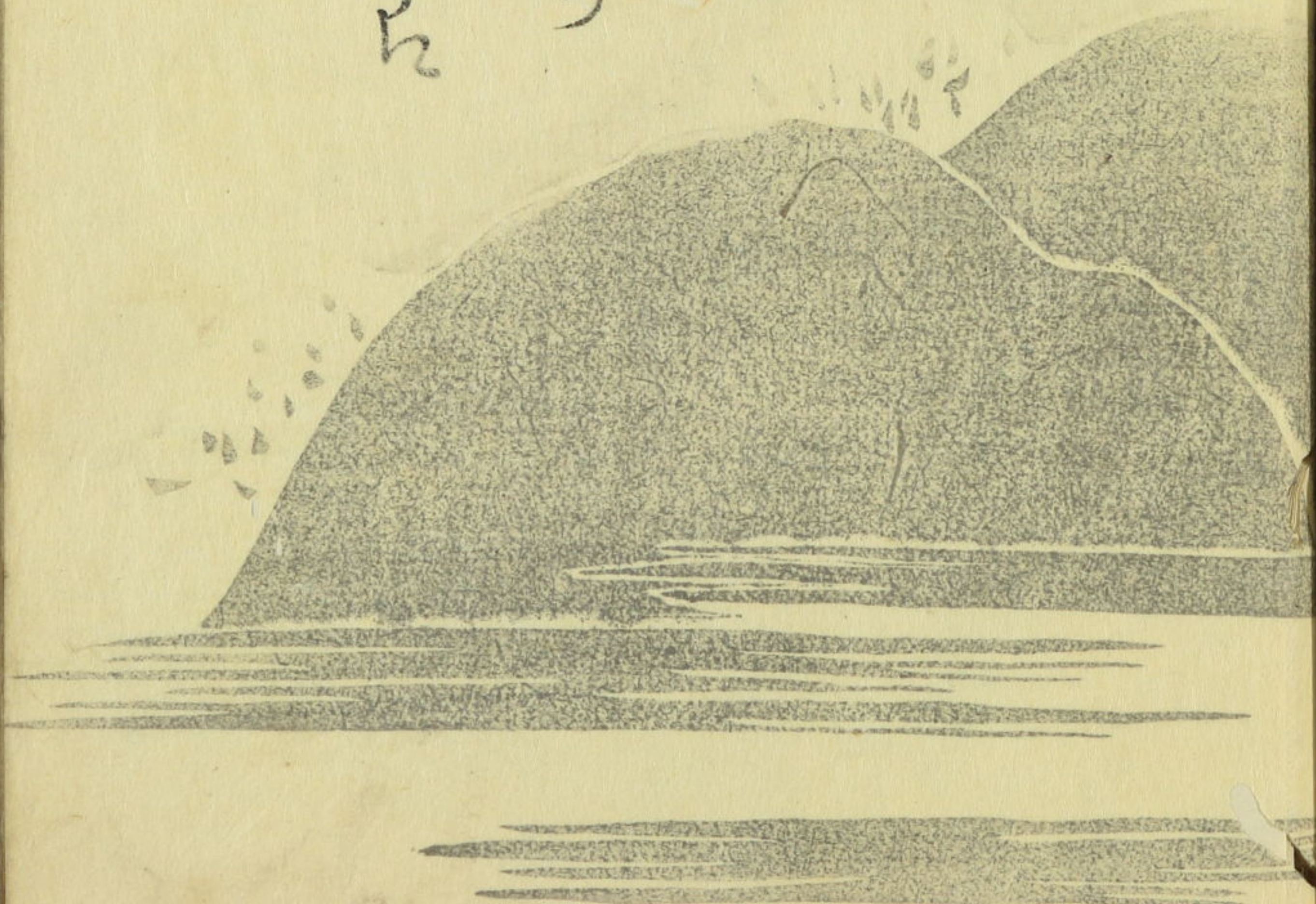
まのたのまハ

まのたのまハ

まのたのまハ

まのたのまハ

まのたのまハ



まき海苔や

まき海苔の汁乃

名うまき

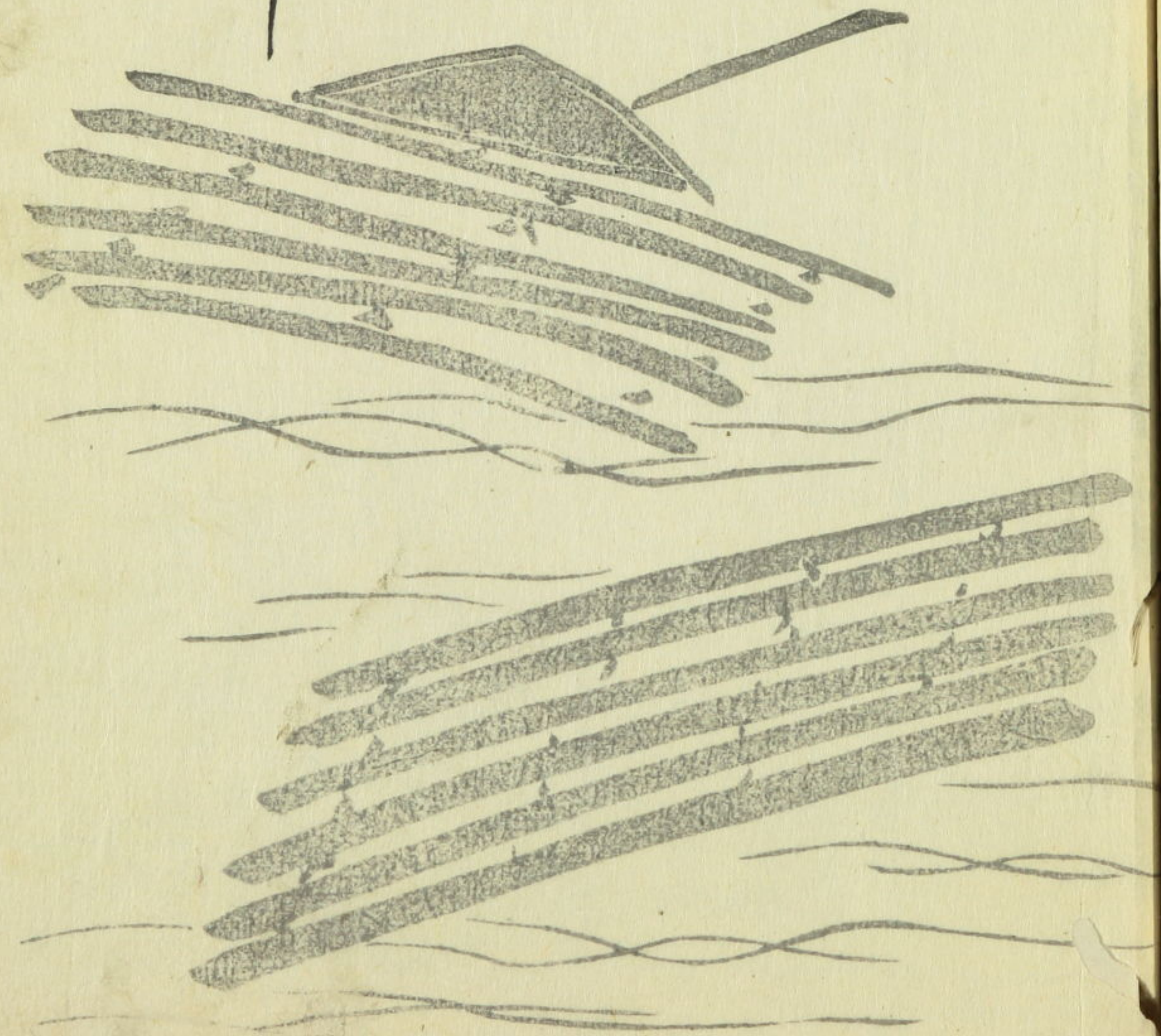


まき海苔や

まき海苔

川の

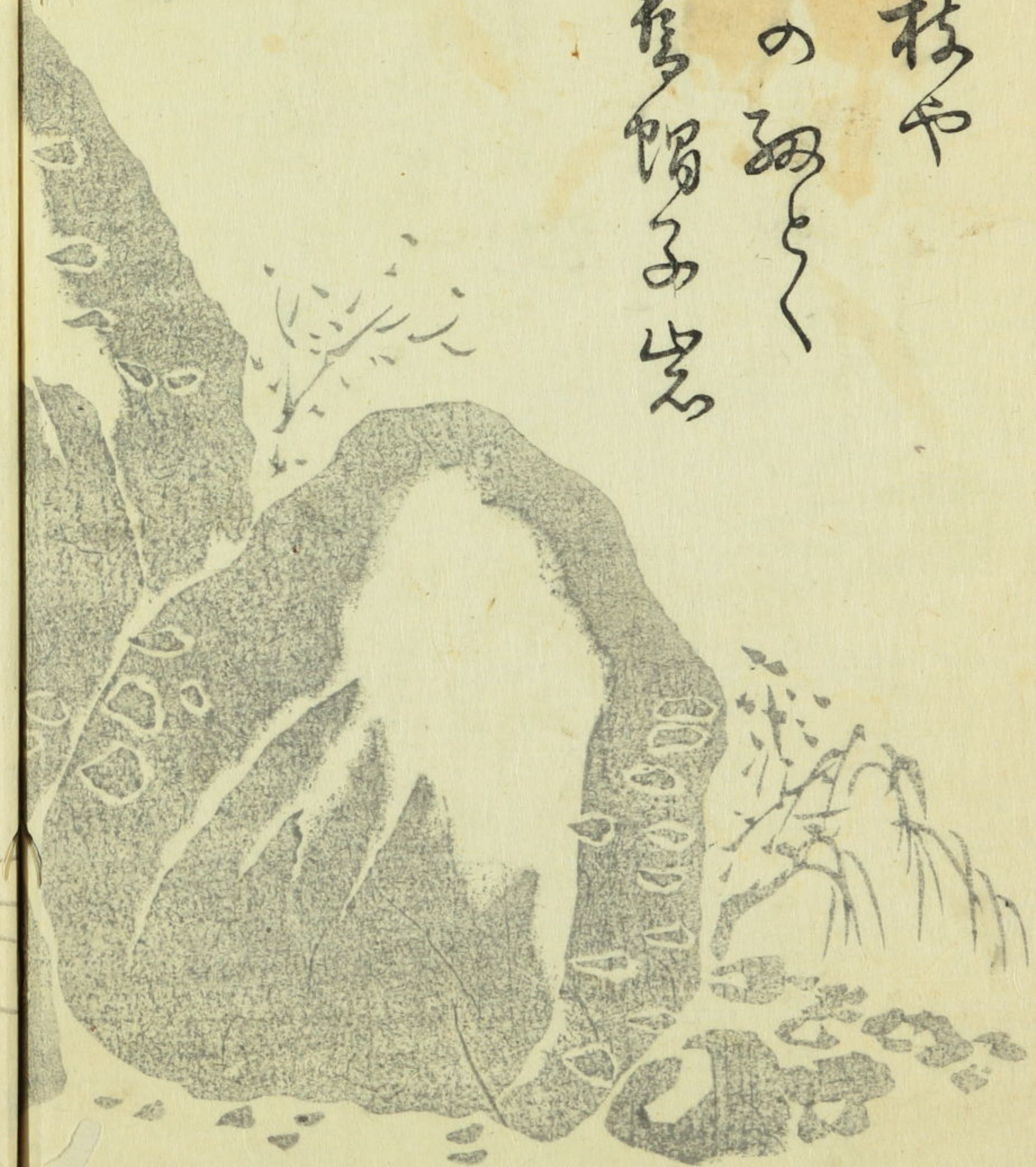
力



藤枝や

世の如く

有帽子也



老い候

崎田

安

大井

川



葛州也

今名了白

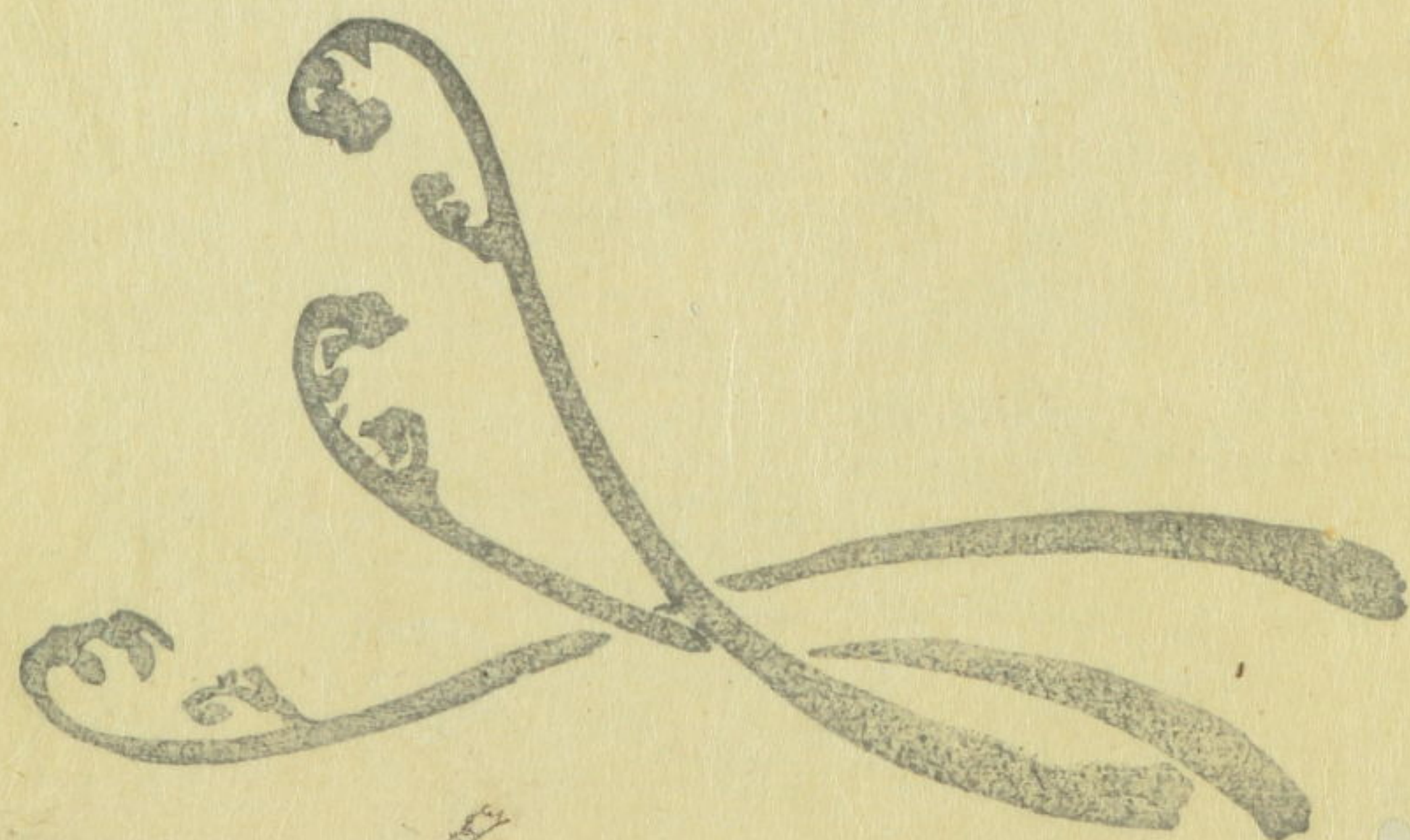
根分
时



日取中證也

法也子乃

子取也

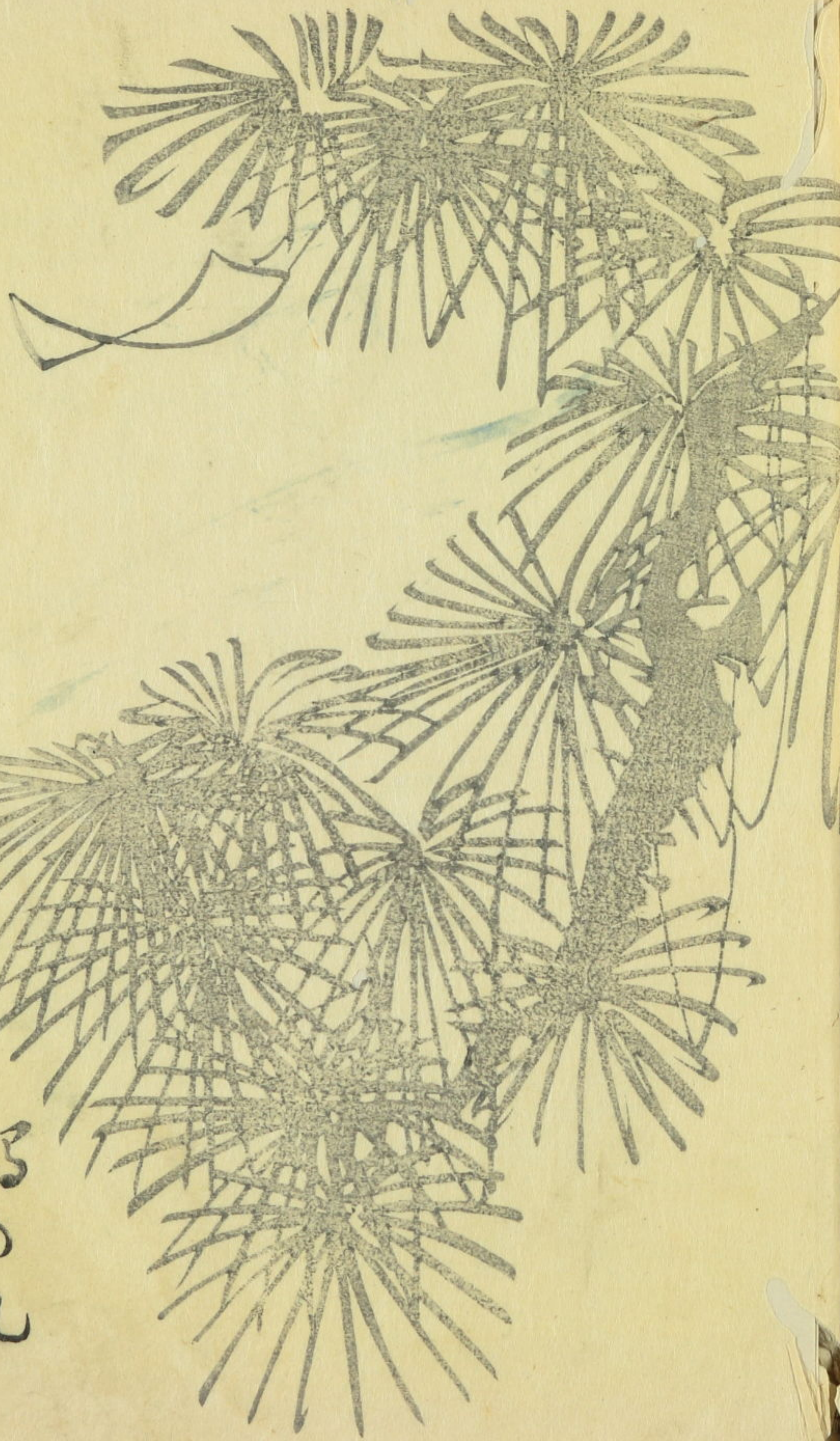


五川や

長宗了

苔の

秋紫道



伏見井や丁白

光寺

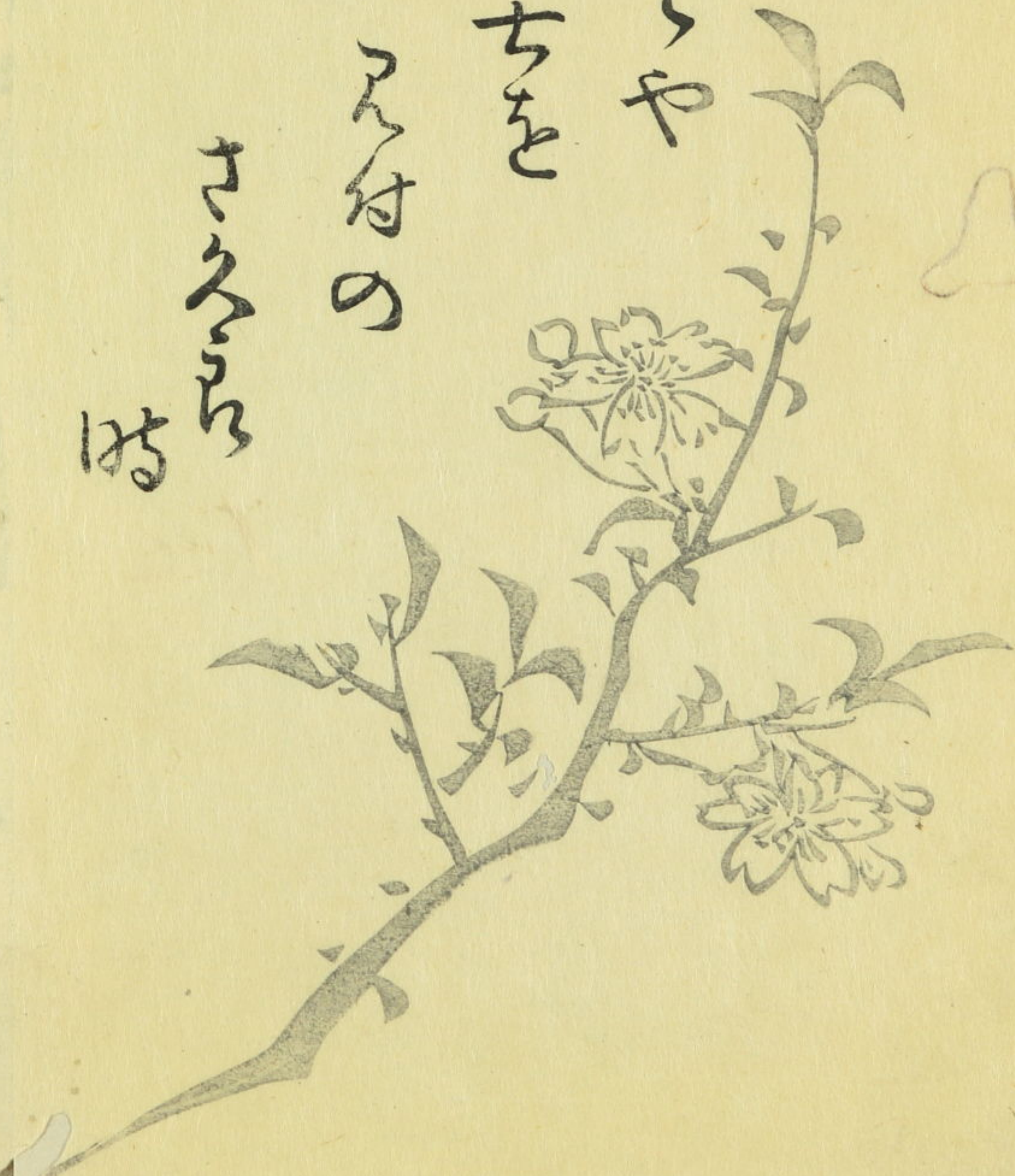
朝のれ

江 遠 波 も 和 久 濱 松 也



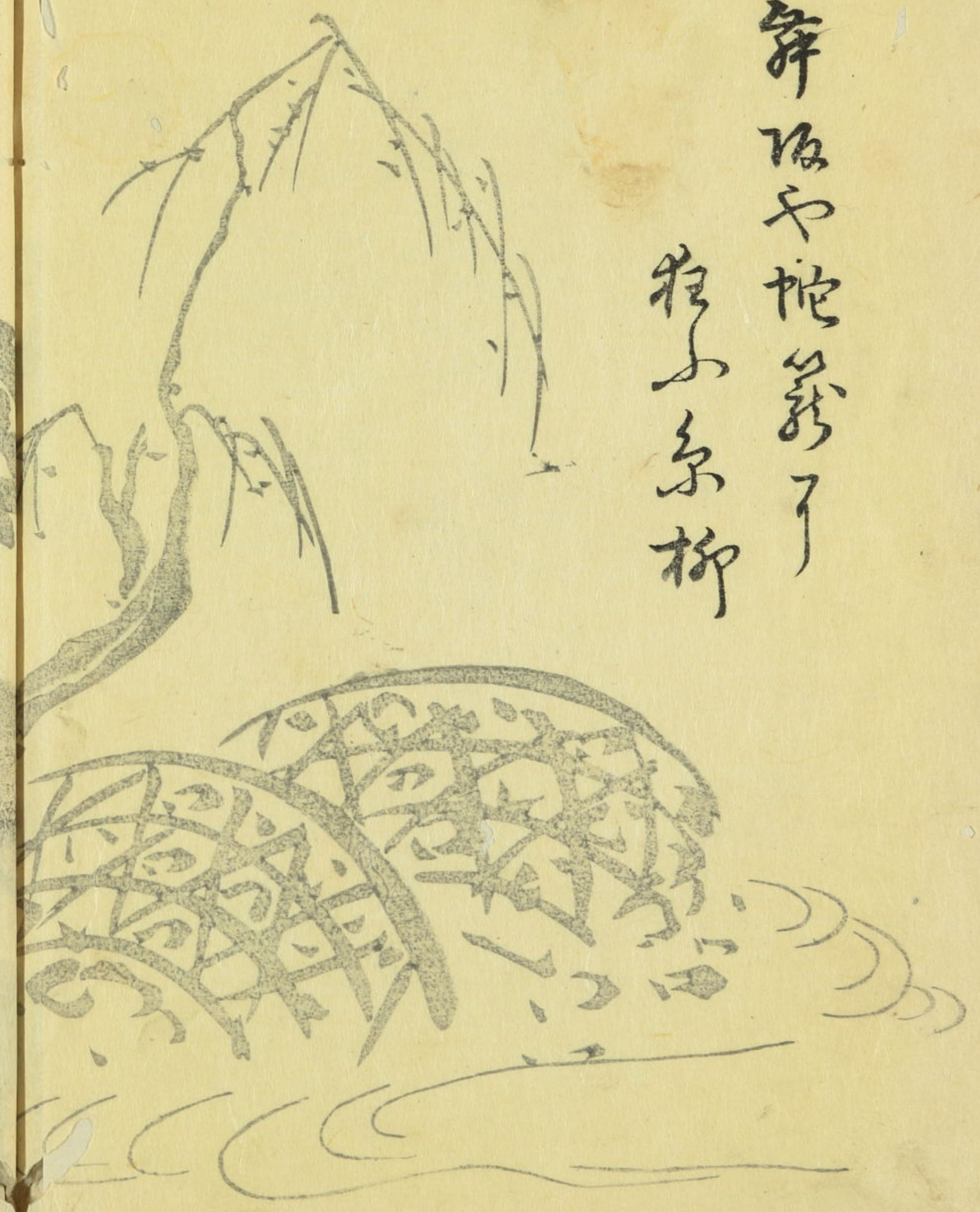
白 中 也 富 古 也

是 村 の 古 久 也 時



舞坂や地蔵了

杉小糸柳

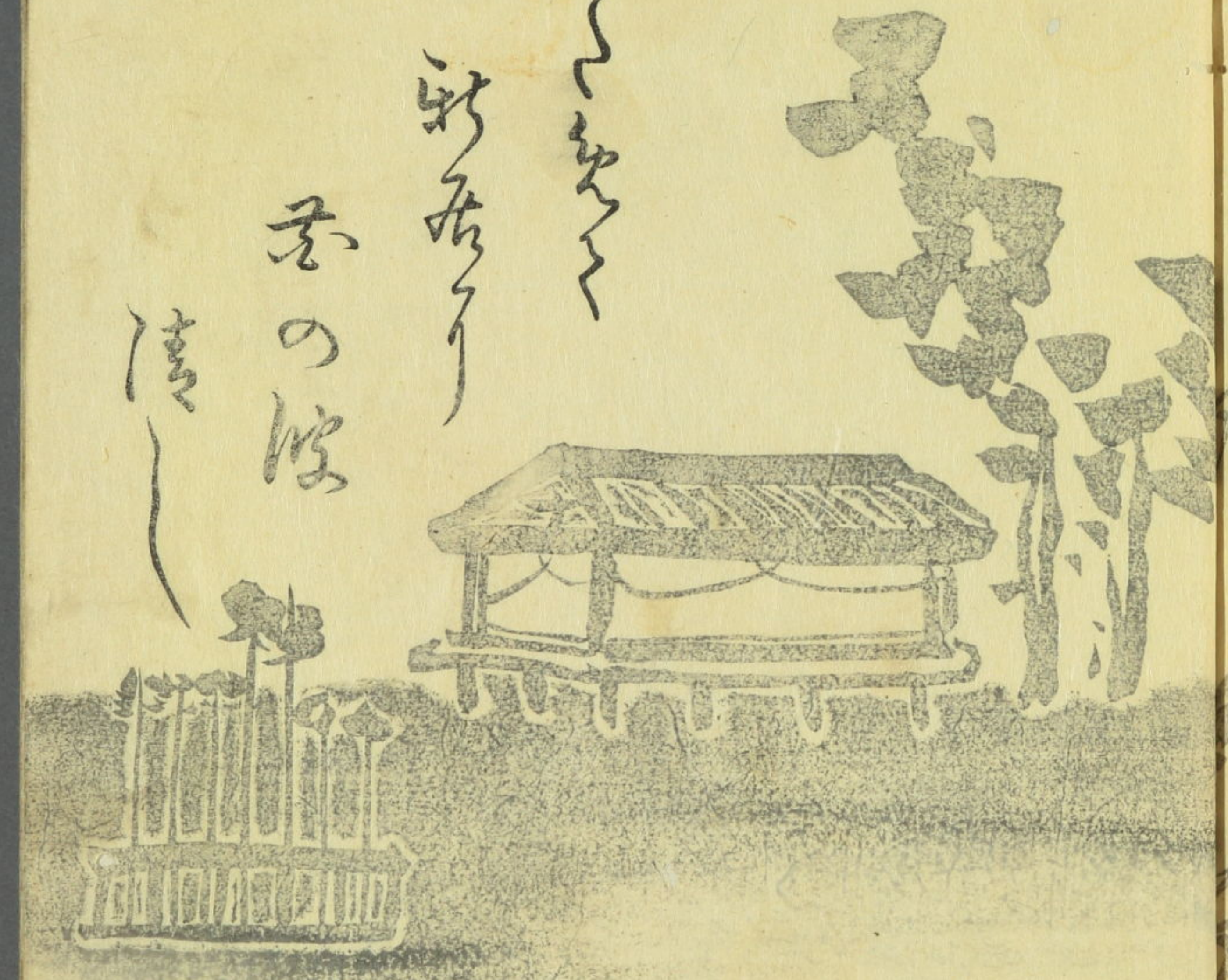


あゝあゝ

新橋

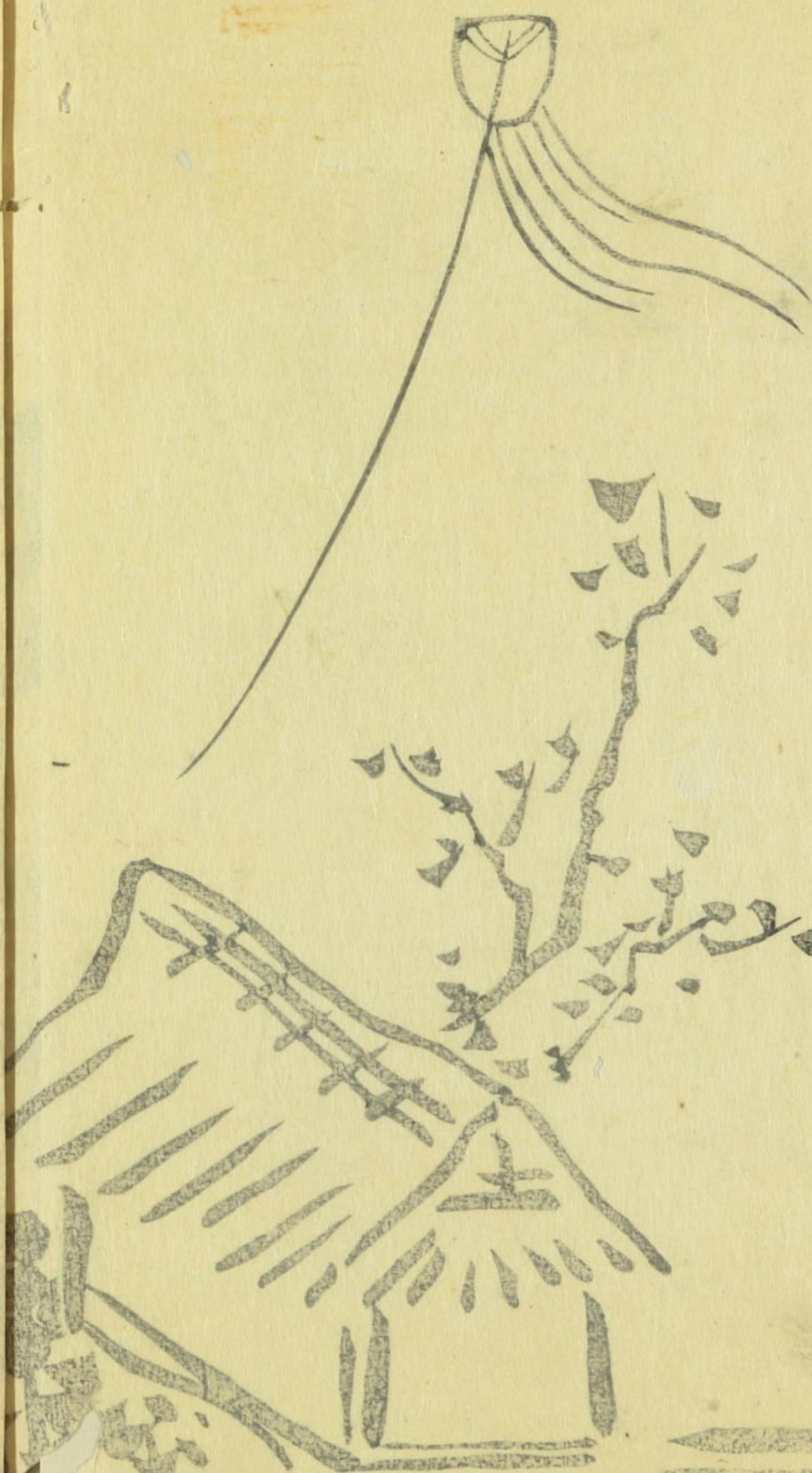
香の波

清



白浪かきや

乾あも子乾 春の風



二川や

七

路の

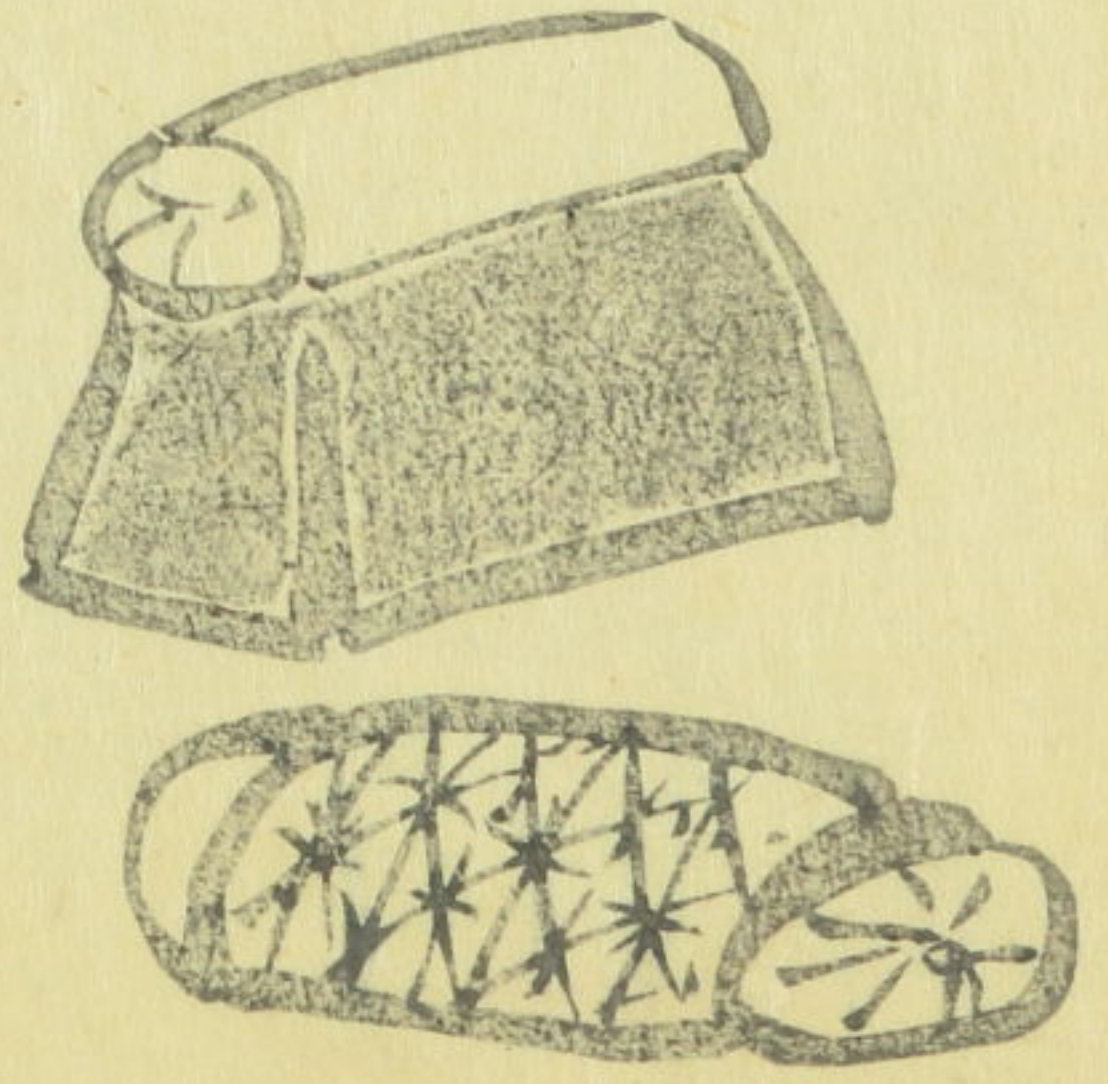
玉か



世に保や

よー田のむに

一 款 袋



糖 神の

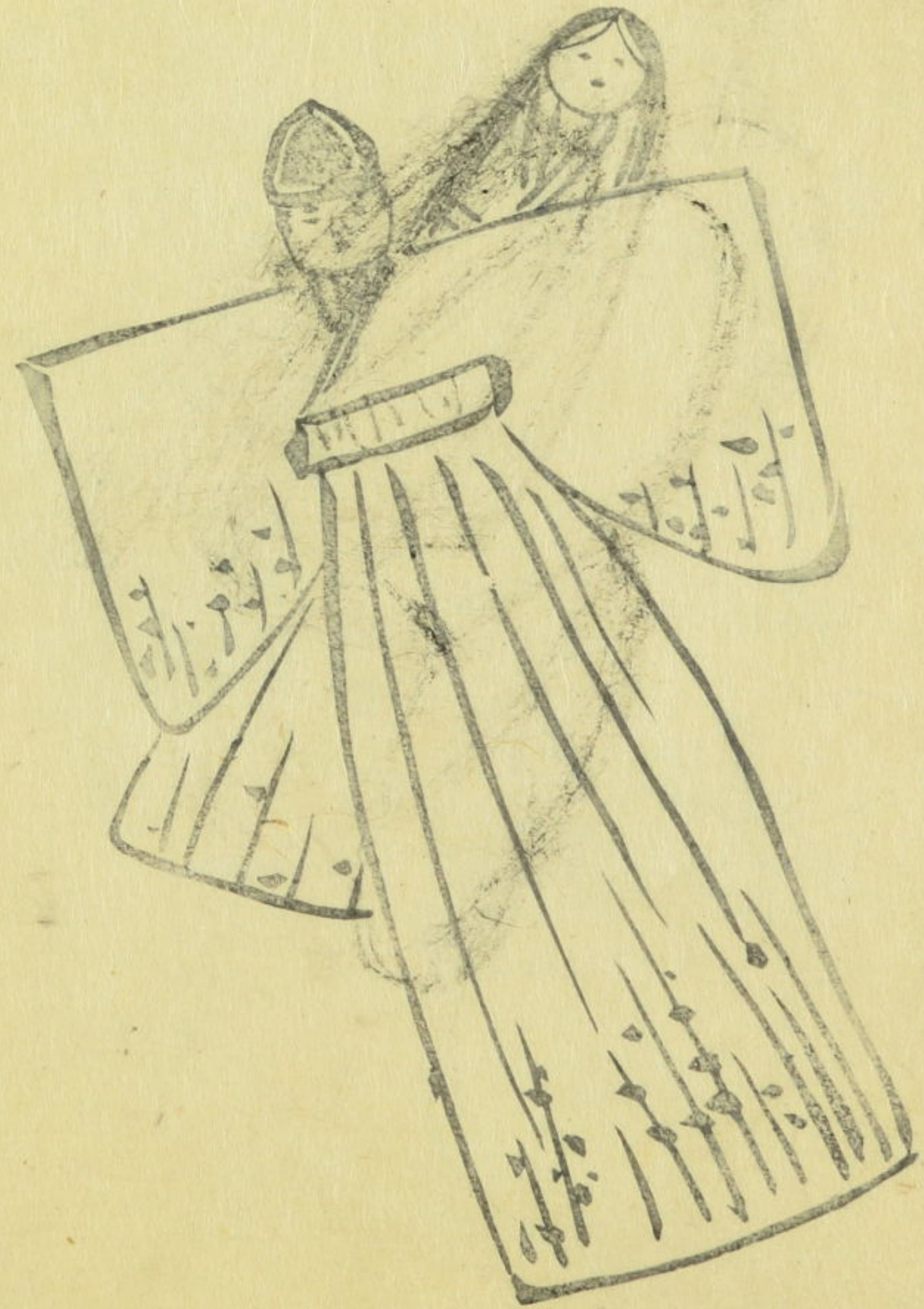
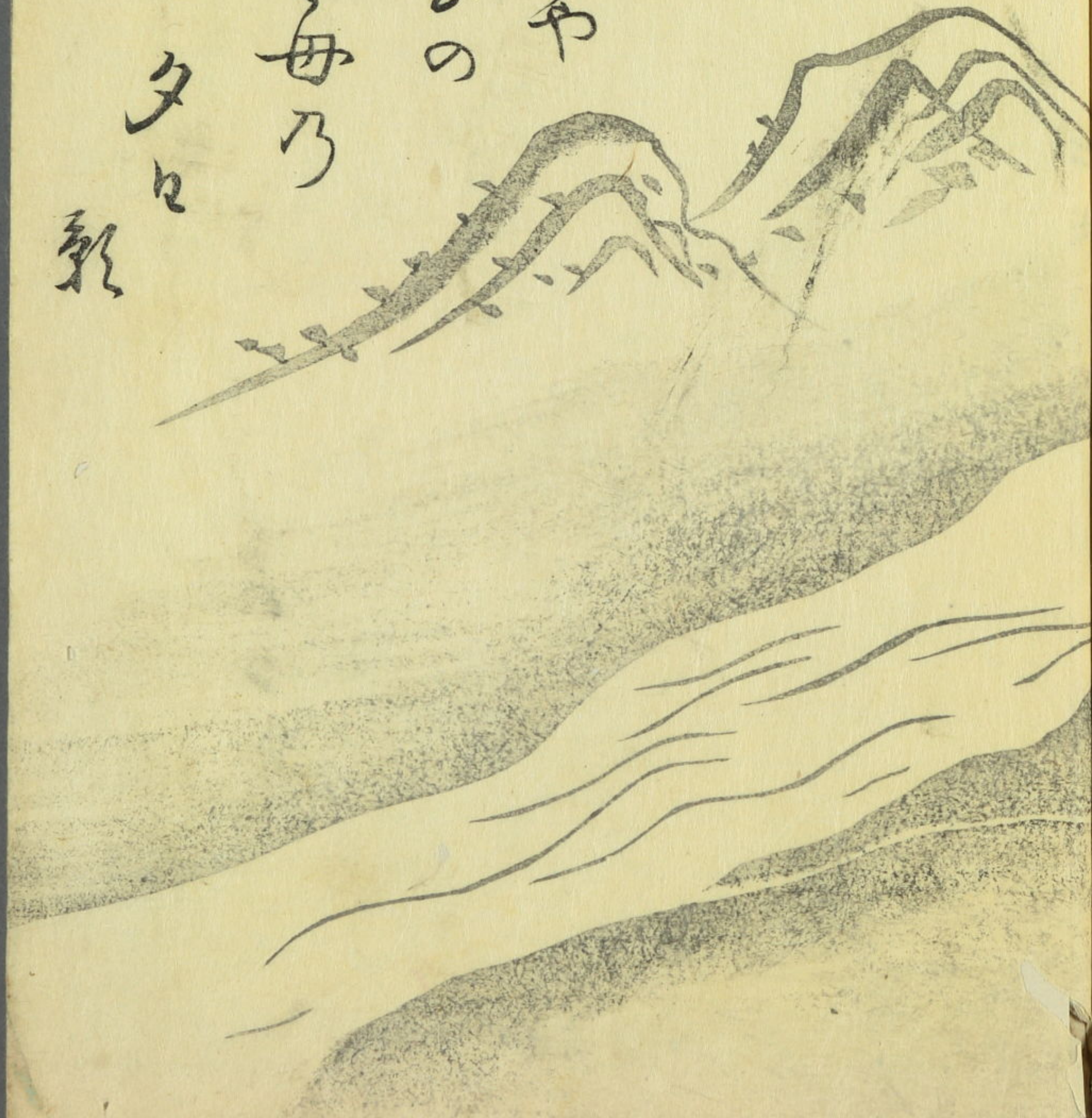
清 神

引 水

者 乃 著



和らや
玉の
子母乃
夕日
乾



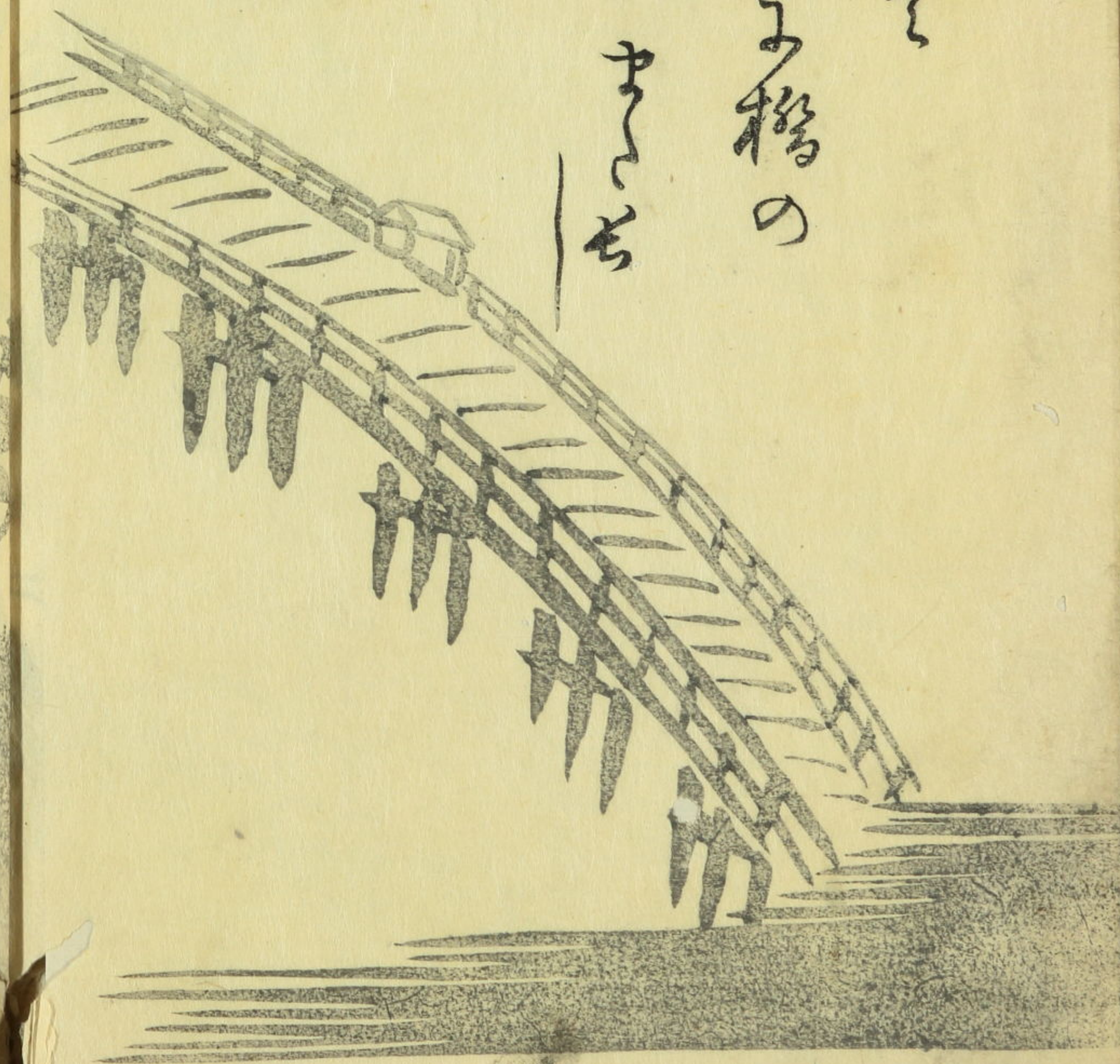
赤坂了然
玉の巻

木下

正
さ
れ
き

舟
子
橋
の

ま
さ
し
ち



浮
魚
の

ち
ま
あ
り

は
ま
り

は
ま
り

う
ち



心算をせよ

ある女の

心算をせよ



心算を

せよ

心算を

せよ

心算を



貝之乃凡也

糸乃乃

舟与糸



